

6分間歩行テスト | 条件・距離

6MWT | ATS/ERS系・直線往復コース用 | 採用手順との照合が必要

患者ID： _____ 日時： _____ 評価者： _____

疾患・病期： _____ 採用手順・版： _____

01 実施前確認・測定条件

実施適否：☐確認済 ☐延期 医師指示・安静度： _____

座位安静： _____分 片道長 L： _____m コース形状・場所： _____

杖・歩行器・装具・靴： _____

介助・見守り（方法・担当）： _____

酸素：☐なし ☐あり 流量： _____ 機器・運搬方法： _____

服薬・服薬後時間／体調： _____

個別の中止・再開条件／緊急時の連絡先： _____

02 距離記録 | 1マス＝片道を1回完了（往復なら2マス）

1 ☐	2 ☐	3 ☐	4 ☐	5 ☐	6 ☐	7 ☐	8 ☐	9 ☐	10 ☐
11 ☐	12 ☐	13 ☐	14 ☐	15 ☐	16 ☐	17 ☐	18 ☐	19 ☐	20 ☐
21 ☐	22 ☐	23 ☐	24 ☐	25 ☐	26 ☐	27 ☐	28 ☐	29 ☐	30 ☐

完了した片道数 N： _____回 + 上記を超える追加： _____回 合計： _____回

端数 d： _____m（最後の折り返し点から終了位置まで）

総距離 = L _____m × 合計 _____回 + d _____m = _____m

☐6分完遂 ☐途中終了（ _____分 _____秒） ☐未実施 理由： _____

休憩時間を6分に加えない。途中終了を6分完遂と混同せず、外挿しない。

6分間歩行テスト | 観察・安全

6MWT | ATS/ERS系・直線往復コース用 | 採用手順との照合が必要

患者ID： _____ 日時： _____ 試行番号： _____

03 バイタル・症状 | SpO2は信号品質も確認

時点	HR / bpm	SpO2 / %	症状・信号不良・歩容など
安静後			
1分			
2分			
3分			
4分			
5分			
終了直後			
回復後			

血圧：前 _____ / _____ 後 _____ / _____ mmHg 回復確認：終了後 _____ 分

SpO2最低値： _____ %（時刻 _____） ☐ 信号良好 ☐ 不良あり 備考： _____

症状尺度名・版： _____ 呼吸：前 _____ 後 _____ 下肢疲労：前 _____ 後 _____

04 休憩・中止と対応 | 必要時は安全確保を優先

休憩： _____ 回 合計 _____ 秒 開始→再開の時刻： _____

症状・理由／中止時刻： _____

対応・連絡先・回復経過： _____

症状尺度の全文は未収載。施設が使用する正規の尺度と対応させて記録。

6分間歩行テスト | 経時比較

6MWT | ATS/ERS系・直線往復コース用 | 採用手順との照合が必要

患者ID：_____ 本人の生活目標：_____

05 同じ条件かを確認して比較 | 条件変更は理由を残す

日付・試行	距離 / m	完遂・休憩	条件変更・症状・介助

比較対象日：_____→_____ 変化量：今回_____ - 前回_____ = _____m

比較条件：☐同じ ☐変更あり 試行の採用方法（最良値等）：_____

参照研究・対象／指標：☐MCID ☐MDC 値_____m 適用上の注意：_____

06 生活での変化・次の評価

できたこと／残る困りごと：_____

追加評価・介入／共有先：_____

次回評価日・条件：_____

参考：ATS 2002 (doi:10.1164/ajrccm.166.1.at1102)
ERS/ATS 2014 (doi:10.1183/09031936.00150314)。詳細・適用範囲は記事参照。